

羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会の開催等について

1. 趣旨

航空市場における競争の激化や国内航空旅客の減少が進み、地方航空ネットワークの維持が一層困難となっている昨今、地方航空ネットワークの維持・充実について、従来のように企業努力に依存することには限界がある。さらに、各地域が置かれている状況は多様であることから、地方公共団体、空港ビル会社及び地場産業等を含む地域がこれまで以上に主体的な役割を果たし、航空会社とのパートナーシップを通じて、地方路線の維持・充実に向けて地域のニーズに合った具体的な措置を講じていくことが期待されている。

以上のような状況にある中、「羽田発着枠配分基準検討小委員会報告書」(平成24年11月28日)においては、「既存の政策枠の活用状況を踏まえた上で、当該政策枠を活用し、地域が航空会社とのパートナーシップにより実施する地方航空ネットワークの充実のための取組みの提案に関してコンテストを実施し、優れた提案を評価して発着枠を付与する手段の導入を検討すべき」とされ、羽田空港国内線発着枠の配分に係る政策コンテストの導入が提言されたところである。

これを踏まえ、羽田発着枠に関する政策コンテストの導入に向け、その評価基準の検討及び提案の評価等を行う際に、外部有識者の知見を活用するため、本懇談会を開催する。

2. 今後のスケジュール(予定)

- ・8月～10月上旬 : 地方公共団体等からの提案の募集
- ・10月下旬 : 羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会において提案を評価【非公開】
- ・11月中 : 国土交通省において政策コンテストの選定路線を決定、配分の実施